

2010年

アジア糖尿病フォーラム徳島

激増するアジアの糖尿病対策への第一歩

日時: **2010年8月11日** [水] 12時50分~18時

会場: **徳島大学病院 西病棟11階 日亜メディカルホール**
徳島市蔵本町2丁目50-1

参加対象:

教育機関、医療機関、糖尿病治療に関心のある
製薬会社並びに食品会社に勤務する方々

主催: 徳島大学、徳島大学病院

共催: 徳島県、財団法人とくしま産業振興機構

参加費: 無料

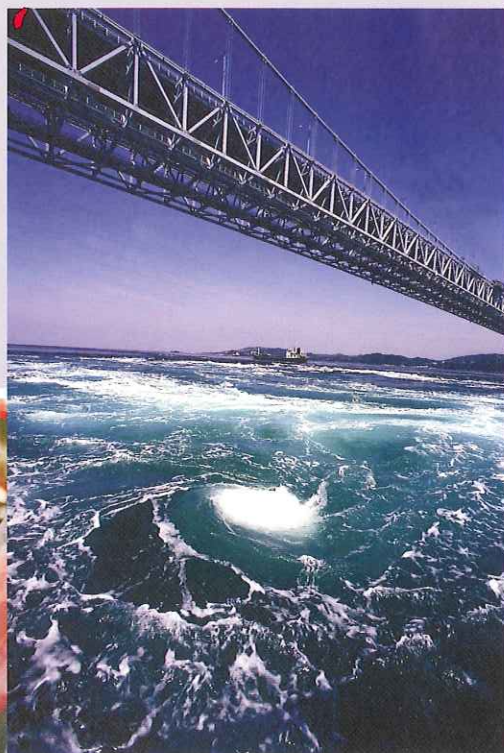
お申込み・お問い合わせ

徳島大学「2010年アジア糖尿病フォーラム徳島」事務局

〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50-1

TEL 088-633-7458

FAX 088-633-9411



背景

世界の糖尿病患者は2億8,500万人に達しつつあり、20年後には1.5倍に増加し、その半数をアジアが占めると予測されています。日本国内においては、徳島県の糖尿病による死亡率は1993年以來14年連続で全国ワースト1位であり、行政や関係機関・団体、事業所も一体となり対応策を講じているところです。本学におきましても地球規模で拡大傾向にある糖尿病に対して、臨床研究の分野でアジアに貢献すべく鋭意努力しております。

目的

本学におきましては、加速度的に蔓延するアジア型糖尿病に特化した国際学術フォーラム「2010年アジア糖尿病フォーラム徳島」を開催することにより、日中を代表する世界的な糖尿病研究者が臨床現場の知見を共有し、研究シーズの相互理解の促進、並びに、共同研究の可能性を見極める絶好の契機となる、と考えております。さらには、「アジア(特に中国)の糖尿病臨床機関と連携した独創的な糖尿病研究成果(シーズ)の拡大・発展」の促進が見込まれ、基礎研究のみならず産学官共同での健康サービス産業の形成を目的とし、研究成果をビジネス化することで更なる研究促進を目指しています。

開催のご挨拶

本県は人口10万人当たりの糖尿病死亡率全国ワースト1が14年続くとともに、生活習慣病の有病率も高いという現実があり、健やかな地域社会の創造は喫緊の課題となっています。そのような背景の中、平成19年に徳島県との連携で糖尿病対策センターを設置し、県を挙げた支援・協力体制のもと、疫学調査を実施しており、データの収集とともに県民の糖尿病に対する健康意識の一層の向上と抑止効果の創出等を図る取り組みを進めています。さらに、平成22年から糖尿病臨床・研究開発センターを設置し、研究・診療の更なる充実化を図り、糖尿病対策を強化しているところです。

糖尿病はライフスタイルの欧米化を主な要因とし、世界における糖尿病患者は2億8,500万人に達しつつあります。特に中国は13億以上の人口を抱える国家であり急激な経済成長の影響から糖尿病患者の急増が懸念されています。今日ほど研究体制のグローバル化が求められる時代はありません。限られた陣容・設備・研究費等で最大限の成果を上げるには、国家を代表する研究者が知見を共有し協働することが強く求められています。本フォーラムが契機となり、日中の継続的な二国間連携に発展するよう心から願い、挨拶と代えさせていただきます。

徳島大学病院 病院長 苛原 稔

「2010年アジア糖尿病フォーラム徳島」はアジア、特に中国を中心に近年急激な増加が懸念されるアジア型糖尿病の克服に向けて、国境を越えた取り組みを展開すべく、日中を代表する糖尿病研究者を招聘し、両国間における臨床研究連携の推進を図るものです。当日は、中国から6名の招待講演者、6名のパネリストが来日される予定です。また、国内の糖尿病研究を牽引する東京大学の門脇孝教授、千葉大学の横手幸太郎教授、そして、山口大学の谷澤幸生教授にお越しいただきます。なお、8月中旬は観光県である徳島がもっともにぎやかになる時期でございます。フォーラム終了後は世界的なフェスティバルである阿波踊りをご鑑賞いただき、地元徳島の新鮮な海の幸、山の幸をふんだんにあしらった郷土料理を是非堪能してください。

最後になりますが、本フォーラム開催のためにご尽力いただき、成功に導いていただいた多くの皆様方に敬意を表し心より感謝を申し上げます。本フォーラムを契機として、両国間の糖尿病臨床研究がますます発展することを願って止みません。

2010年アジア糖尿病フォーラム徳島 会長 松本 俊夫



Asian Diabetes Forum in Tokushima 2010

August 11, 2010, Nichia Medical Hall,
Tokushima University Hospital

Program

12:50~13:00	Opening Remarks Minoru Irahara Director of Tokushima University Hospital
Section 1	Speakers from China Chairpersons: Makoto Funaki University of Tokushima Toshiaki Tamaki University of Tokushima Sumihare Noji University of Tokushima
13:00~13:20	Genetic study of type 2 diabetes in Chinese Ji Linong Peking University People's Hospital
13:20~13:40	Zinc Transporter 8 autoantibody (ZnT8A) in type 1 diabetes Yang Tao The First Affiliated Hospital of Nanjing Medical University
13:40~14:00	Oxidative stress and diabetic complications Yu Demin Tianjin Medical University Metabolic Diseases Hospital
14:00~14:20	Association of C-reactive protein to adiponectine in vivo and in vitro Chen Mingdao Rui Jin Hospital, Medical School of Shanghai Jiao Tong University
14:20~14:40	HbA1c cut-off points in diagnosing diabetes in Chinese adults Ning Guang Rui Jin Hospital, Medical School of Shanghai Jiao Tong University
14:40~15:00	Effects of short-term continuous subcutaneous insulin infusion on fasting plasma vaspin levels in patients with type 2 diabetes mellitus Li Ling Chongqing Medical University
15:00~ 15:15	Break
Section 2	Speakers from Japan Chairpersons: Munehide Matsuhisa University of Tokushima Seiichi Oyadomari University of Tokushima Hiroshi Inoue University of Tokushima
15:15~15:35	Molecular mechanism and genetics of type 2 diabetes Takashi Kadowaki University of Tokyo
15:35~15:55	Approaches towards diabetic complications Kotaro Yokote Chiba University
15:55~16:15	Beta cell failure in type 2 diabetes Yukio Tanizawa Yamaguchi University
16:15~16:30	Break
Section 3	Panel Discussion
16:30~17:30	Diabetes care in Asia Moderators Makoto Funaki University of Tokushima Seiichi Oyadomari University of Tokushima Panelists Gong Chunxiu Beijing Children's Hospital, The Capital Medical University Yu Pei Tianjin Medical University Metabolic Diseases Hospital Liu Yu Second Hospital of Jilin University Tian Haoming West China Hospital of Sichuan University Du Jianling The First Affiliated Hospital of Dalian Medical University Lu Jieli Rui Jin Hospital, Medical School of Shanghai Jiao Tong University Takashi Kadowaki University of Tokyo Kotaro Yokote Chiba University Yukio Tanizawa Yamaguchi University
Section 4	Medical Tourism
17:30~18:00	Experience of medical tourism in Tokushima Munehide Matsuhisa University of Tokushima
18:00~18:10	Closing Remarks Toshio Matsumoto University of Tokushima

2010年

アジア糖尿病フォーラム徳島

講演者紹介

□東京大学 門脇 孝 教授

- 1978年 東京大学医学部医学科卒業
- 1986年 米国国立衛生研究所(NIH)糖尿病部門客員研究員
- 2001年 東京大学大学院医学系研究科代謝栄養病態学(糖尿病・代謝内科)助教授
- 2003年 東京大学大学院医学系研究科代謝栄養病態学(糖尿病・代謝内科)教授(現職)
- 2004年 東京大学総長補佐(兼務)(~2006年)
- 2008年 日本糖尿病学会理事長
- 2009年 東京大学総長特任補佐(兼務)

□千葉大学 横手 幸太郎 教授

- 1988年 千葉大学医学部医科学卒業、同年第二内科入局
- 1992年 ルードウィック癌研究所(スウェーデン)客員研究員
- 1996年 スウェーデン国立ウプサラ大学大学院博士課程修了(Ph.D.)
- 1998年 千葉大学大学院博士課程修了(医学博士)
- 2006年 千葉大学大学院医学研究院細胞治療学講師
- 2009年 千葉大学大学院医学研究院細胞治療学/糖尿病・代謝・内分泌内科教授(現職)

□山口大学 谷澤 幸生 教授

- 1983年 山口大学医学部医学科卒業
- 1987年 山口大学大学院医学研究科修了 医学博士 代謝学
- 1989年 山口大学医学部附属病院(第3内科)助手
- 1990年 ワシントン大学(セントルイス)医学部 ポストドクトラルフェロー
- 1993年 山口大学医学部附属病院(第3内科)医員(~1995)、助手(~1997)、講師(~2002)
- 2002年 山口大学大学院医学研究科分子病態解析学分野(第3内科)教授
- 2006年 山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学分野(第3内科)教授(改組による)

□北京大学人民病院 紀 立农 (Ji Linong) 教授

- 1986年 北京医科大学医学科卒業
- 1993年 ハーバード大学ジョスリン糖尿病センター研修ポストドクトラルフェロー(~1996年)
- 1997年 ハーバード大学医学部 客員准教授(~1999年)
- 1997年 北京大学人民病院 教授・内分泌科主任医師、中華医学会糖尿病学会主任委員、国際糖尿病連盟(IDF)アジア西太平洋地区糖尿病対策構成員、世界糖尿病同盟(GDA)監督指導委員(現職)

□南京医科大学第一附属医院 杨 涛 (Yang Tao) 教授

- 1992年 南京医科大学本科卒業、医学修士号取得(1998年)
- 2001年 南京医科大学医学博士号取得
同大学第一附属医院 講師・主治医師
- 2003年 コロラド大学バーバラデビス小児糖尿病センター研修
ポストドクトラルフェロー
- 2006年 南京医科大学第一附属医院 准教授
- 2008年 南京医科大学第一附属医院 准教授兼内分泌科副主任医師
- 2010年 南京医科大学第一附属医院 教授兼内分泌科医局長

□天津医科大学代謝病病院 于 德民 (Yu Demin) 院長・教授

- 1978年 天津医学院卒業、天津医学総合病院内分泌科
入院医師・主治医師・副主任医師・教授(~1997年)
- 1988年 天津医科大学医学修士号取得、医学博士号取得(1994年)
- 1997年 スイスジュネーブ大学 客員教授
- 1998年 天津医科大学代謝病病院 院長・教授、天津市内分泌研究所所長(2003年~)(現職)

□上海交通大学医学院附属瑞金病院 陈 名道 (Chen Mingdao) 教授

- 1966年 第四軍医大学本科卒業
- 1981年 上海第二医科大学医学修士号取得
- 1983年 パリ第7大学ピシャ病院研修(~1984年)
- 1987年 上海第二医科大学医学博士号取得
- 1989年 テキサス大学ヒューストン医学院 ポストドクトラルフェロー(~1991年)、シニアリサーチアソシエイト(1991年~1997年)
- 1998年 上海交通大学医学院附属瑞金病院 教授・内分泌科主任医師、上海市内分泌代謝病研究所研究員(PI)、中華内分泌代謝雑誌執行副総編集長(現職)

□上海交通大学医学院附属瑞金病院 寧 光 (Ning Guang) 副院長・教授

- 1987年 山東医科大学医学科卒業
- 1994年 上海第二医科大学臨床医学博士号取得
- 1997年 米国ベイラー医科大学 ポストドクトラルフェロー(~1999年)
- 2000年 上海交通大学医学院附属瑞金病院 教授(現職)
- 2002年 上海交通大学医学院附属瑞金病院 副院長・内分泌代謝医局長、上海市内分泌研究所所長、上海市内分泌代謝病臨床医学センター主任腫瘍専門実験室主任(現職)

□重慶医科大学 李 伶 (Li Ling) 教授

- 1983年 重慶大学理学部卒業、理学修士号取得(1996年)
- 1996年 重慶医科大学医学検査部臨床生物化学教育研究室
講師(~2000年)
- 2000年 米国アステク株式会社 医薬品代謝ラボラトリーアシスタント
研究員(~2002年)
- 2007年 重慶医科大学医学検査部臨床生物化学教育研究室 教授(現職)

座長紹介

第一部講演

□徳島大学 船木 真理 教授

1991年 東京大学医学部卒業

1997年 東京大学医学博士号取得

2007年 徳島大学医学部・歯学部附属病院

糖尿病対策センター センター長・教授(現職)

2008年 ペンシルバニア大学生理学分野医工学インスティテュート
客員教員

□徳島大学 玉置 俊晃 教授

1977年 徳島大学医学部卒業

1987年 徳島大学医学博士号取得

1996年 徳島大学医学部(現ヘルスバイオサイエンス研究部)
薬理学分野 教授(現職)

2009年 徳島大学医学部長

2010年 徳島大学副理事(総務・財務担当)兼医学部長

□徳島大学 野地 澄晴 教授

1970年 福井大学工学部卒業

1980年 広島大学理学博士号取得

1983年 岡山大学歯学部口腔生化学講座 助手

1992年 岡山大学医学部生化学講座 講師(3月～)

1992年 徳島大学工学部(現ソシオテクノサイエンス研究部)
生物反応工学講座 教授(7月～現職)

モデレーター紹介

□徳島大学 船木 真理 教授

第一部講演 座長欄をご参照ください。

□徳島大学 親泊 政一 教授

第二部講演 座長欄をご参照ください。

第二部講演

□徳島大学 松久 宗英 教授

1987年 岡山大学医学部卒業

1996年 大阪大学医学博士号取得

2003年 大阪大学大学院医学系研究科内分泌代謝内科学
助手(助教)、講師(2009年～)

2010年 徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター診療部門長 教授(現職)

□徳島大学 親泊 政一 教授

1995年 熊本大学医学部卒業

2001年 熊本大学医学博士号取得

2003年 ニューヨーク大学医学部スカボール研究所 研究員

2008年 徳島大学疾患ゲノム研究センター生体機能分野 教授(現職)

□徳島大学 井上 寛 教授

1988年 山口大学医学部卒業

1997年 山口大学医学部第3内科 助手

2000年 山口大学医学博士号取得

2004年 徳島大学疾患ゲノム研究センター病態ゲノム分野 准教授

2010年 徳島大学疾患ゲノム研究センター病態ゲノム分野 教授、
併任糖尿病臨床・研究開発センター(現職)

パネリスト紹介

□首都医科大学附属北京児童病院 教授・内分泌科主任医師

巩 纯秀 (Gong Chunxiu)

□天津医科大学代謝病病院 糖尿病腎病透析科医局長・副主任医師

于 珮 (Yu Pei)

□吉林大学白求恩第二病院 准教授・内分泌科医局長

刘 煜 (Liu Yu)

□四川大学華西病院 教授・内分泌科主任医師

田 浩明 (Tian Haoming)

□大連医科大学附属第一病院 教授・内分泌科主任医師

杜 建玲 (Du Jianling)

□上海交通大学医学院附属瑞金病院 内分泌代謝科主治医師

陆 洁莉 (Lu Jieli)

□東京大学 教授

門脇 孝 (Takashi Kadowaki)

□千葉大学 教授

横手 幸太郎 (Kotaro Yokote)

□山口大学 教授

谷澤 幸生 (Yukio Tanizawa)

Access



徳島阿波おどり空港からタクシー・バスで30分
 JR徳島駅からタクシー・バスで15分
 JR蔵本駅から徒歩3分
 市バス「中央病院・大学病院前」※1
 または「医学部前」※2から
 徒歩1分

会場
 西病棟11F
 日産メディカル
 ホール



参加お申込み要領

参加お申込みの方は、
 別紙の申込用紙に所要事項をご記入の上、
 事務局宛にファクシミリにて
 お申込みください。
 ※先着順に受付いたします。会場の都合により
 お申込みを締め切らせていただく場合はご容赦ください。

参加費:無料

お申込み・お問い合わせ
 徳島大学「2010年アジア糖尿病フォーラム徳島」事務局
 〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50-1
 TEL 088-633-7458
 FAX 088-633-9411